

平成22年4月22日

お知らせ

資料提供先	県政記者クラブ 県政記者会 県政滝町記者クラブ
-------	-------------------------------

事故防止対策について意見交換会を開催します

国道2号宇部市吉見地区で事故対策の効果を把握

山口河川国道事務所では、交通事故を減らすため交通安全対策にむけて様々な施策を講じてまいりました。

平成21年の山口県における事故では、車線をはみ出して正面衝突による死亡事故が多発していて、年末には全県で交通死亡事故多発警報が発令されました。国道2号宇部市吉見地区においても6月と9月に大型車両が絡んだ正面衝突によって死亡事故が発生しています。

そのような現状から山口河川国道事務所では、吉見地区において中央線はみ出し防止に向けた対策として切削型注意喚起舗装（ランブルストリップス）※などを施工することによって交通事故対策を行いました。

この度、整備効果を把握するためトラック協会や警察などと現地確認を行った後、意見交換会を開催します。

※ランブルストリップスとは路面に連続した間隔で溝を施工してタイヤが踏むと音と振動を発生させることによりドライバーに注意喚起を促す工法です。

日時 : 平成22年4月28日(水) 14:00から
現地調査 : 宇部市吉見地内
意見交換会 : 宇部市楠総合支所
内容 : 現地確認、対策効果を把握するための意見交換会

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所
副所長(管理担当) まつむら まもる 松村 守
【担当】交通対策課 さかもと わたる 坂本 弥
【広報担当】計画課 やまうち かずのり 山内 和則

電話番号 (0835) 22-1785 (代表)

事故対策施策効果の意見交換会(宇部市吉見地区)

1. 主 旨

国道2号宇部市吉見地区は吉見峠を境にカーブが連続し、中央線はみ出し事故が発生していました。最近では平成21年6月と9月に大型車両が絡んだ正面衝突によって死亡事故が発生しています。

山口河川国道事務所では、吉見地区で多発している中央線はみ出し事故防止対策として、タイヤが中央線を踏むと車が振動して体感的に啓発が図れる切削型注意喚起舗装（ランブルストリップス）と中央線上に物理的な車線分離をするためポストコーンを設置する工事を平成22年2月に実施しました。

この度、事故対策について今後の事故防止対策の参考とするために、参加者から意見を聞く意見交換会を平成22年4月28日に開催します。

2. 現地確認と意見交換会スケジュール

■ 4月28日（水）の予定

- | | |
|---------------------|-----------|
| (1) 現地確認(宇部市吉見地内) | (14:00) ~ |
| (2) 意見交換会(宇部市楠総合支所) | (14:30) ~ |
| (3) 終了 | (15:30) |

※ () は概ねの時間

3. 意見交換会のメンバー（予定）

運送事業者 : トラック協会（宇部支所）

警 察 : 宇部警察署

行政（国・市）：宇部市、国土交通省山口河川国道事務所

4. 開催場所

現地確認箇所 : 宇部市吉見

(国道2号 494K000~494K630)

意見交換会会場 : (宇部市楠総合支所)

電話番号 (0836) 67-2812

位置図

